

第82回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日時 令和4年10月27日(木) 13:00~14:45
場所 Zoom会議との併用
出席者 [館外運営会議委員]
市澤委員(副議長)、梅崎委員、江村委員、小澤委員、木川委員、木下委員、
坂上委員、徳丸委員(Zoom出席)、バートン委員、村上委員
[館内運営会議委員]
山田委員(議長)、関沢委員、小倉委員、内田委員、高田委員、松木委員、
大久保委員、林部委員、日高委員、三上委員
欠席者 鈴木委員
陪席者 館長、管理部長、総務課長、財務課長、研究協力課長、博物館事業課長、
総務企画係、人事係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

総務課長から、出席委員20名により本会議が成立している旨報告があり、併せて配付資料の確認が行われた。

○議事

(1) 前回議事要旨確認

山田議長から、資料1に基づき前回(令和4年5月30日開催第81回国立歴史民俗博物館運営会議)議事要旨(案)の確認が行われ、原案どおり承認された。

(2) 審議事項

① 教員の選考について

・歴史資料分析学准教授

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料2-1に基づき、候補者に係る教員候補者選考委員会の審査結果について説明があった。

村上委員から、審査論文3の地方自治体の発掘調査報告書を審査論文の対象としてよいのかとの質問があり、館内人事委員会委員長の関沢委員から、学際性を求めた選考でもあるので、問題ないものと判断した旨回答があった。

審議の結果、山田議長から投票により議決することが諮られ、渡邊総務課長から票決数について確認後、投票を実施した結果、若木 重行氏の歴史資料分析学准教授採用が承認された。

なお、投票は、当初、Zoomでのオンライン投票を予定していたが、館内でのZoomのシステム障害のため、Zoom出席の徳丸委員のみオンライン投票とし、会場では投票用紙による記述式投票に変更した。開票の立会い者として、梅崎委員と村上委員の立候補があり、承認された。

開票作業は別室(応接室)にて梅崎委員と村上委員の立会いのもと、人事係(楠本・久保)と総務企画係(市川:ホストPC担当(徳丸委員の開票確認のため))により行われた後、楠本人事係長から山田議長に開票結果が報告された。

【投票結果】 投票総数 20票(2分の1以上は、11票)

可 20票、 否 0票

投票後、坂上委員から、投票用紙の記載方法について質問があり、山田議長から、次の投票から、可は○印、否は×印を投票用紙に記載し、白票の場合は記載なしとする

旨説明があった。

・先史考古学（弥生）テニュアトラック助教

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料2-2に基づき、候補者に係る教員候補者選考委員会の審査結果について説明があった。

審議の結果、山田議長から投票により議決することが諮られ、渡邊総務課長から票決数について確認後、投票を実施した結果、山下優介氏の先史考古学（弥生）テニュアトラック助教の採用が承認された。

なお、開票の立会いは、途中退席の梅崎委員に代わって江村委員と村上委員の2名によって行われた。

【投票結果】 投票総数 20票（2分の1以上は、11票）

可 20票、 否 0票、 白票 0

・日本中世史テニュアトラック助教

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料2-3に基づき、候補者に係る教員候補者選考委員会の審査結果について説明があった。

バートン委員から、候補者が博士号を取得していないことについて質問があり、館内人事委員会委員長の関沢委員から、近いうちに博士号を取得可能である旨回答があった。

審議の結果、山田議長から投票により議決することが諮られ、渡邊総務課長から票決数について確認（梅崎委員が途中退席されたため、投票総数は19名に変更）後、投票を実施した結果、土山祐之氏の日本中世史テニュアトラック助教の採用が承認された。

なお、開票の立会いは、江村委員と村上委員の2名によって行われた。

【投票結果】 投票総数 19票（2分の1以上は、10票）

可 19票、 否 0票、 白票 0

（3）報告事項

①教員候補者選考委員会報告について

・近世絵画史准教授公募の結果について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料3に基づき、当該公募を実施した結果、適任者なしとする審議結果及びその理由について報告があった。

②共同研究委員会報告について

・令和3年度共同研究終了課題の実績報告について

山田議長から発議があり、小澤共同研究委員会委員長から、資料4に基づき、令和3年度終了共同研究課題（基幹研究1件、基盤研究3件（うち課題設定型1件、館蔵資料型1件）、歴博研究映像型共同研究1件）の実績報告について、共同研究委員会においてそれぞれ問題なく実施されていると判断された旨の報告があった。

・共同利用型共同研究について

引き続き、小澤共同研究委員会委員長から、資料5に基づき、令和3年度共同利用型共同研究課題（館蔵資料利用型6件、分析機器・設備利用型1件）の成果報告書について共同研究委員会においてそれぞれ問題なく実施されていると判断された旨の報告があった。

・第3期基幹研究プロジェクト終了課題の実績報告について

引き続き、小澤共同研究委員会委員長から、資料6に基づき、第3期基幹研究プロジェクト終了課題（機関拠点型1件、広領域連携型2件、ネットワーク型1件）の実績報告について、共同研究委員会においてそれぞれ問題なく実施されていると判断された旨の報告があった。

③歴博の活動状況について

山田議長から、資料7をご覧いただき、質問等があればお受けしたい旨発言があった。

(4) その他

① 『国立歴史民俗博物館研究報告』の電子化について

小倉研究推進センター長から、次年度から実施予定の『国立歴史民俗博物館研究報告』の電子化について概要説明があり、意見交換が行われた後、西谷館長から補足説明があった。

(5) 館長挨拶

西谷館長から、本日の企画展示の見学及び意見交換会の実施の意義と歴博の継続的な研究活動を支える新規教員採用の重要性について、また、施設の老朽化や電気料金の高騰による予算の逼迫等の現況について説明があった。

(次回以降の開催予定)

山田議長から、次回の本会議の開催日程について以下のとおり報告があった。

- ・令和4年12月22日（木）午前10時30分